

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Le-Lian 空と風		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 6日		～ 令和8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 10日		～ 令和8年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちの「好きなこと」に注目して日々の活動を設定している	・常に子どもたちの興味関心のあることは何かを探り、余暇時間にも提案している ・SNSを活用し、新しいものに目を向ける機会をつくっている ・スタッフも子どもと一緒に楽しめるよう配慮し、関心の輪が広がるようアプローチしている	・提案やアイデアが押しつけになってしまっていないか、子どもや家庭に負担となる部分はないかなど考慮していく
2	・「個別」でおこなう活動や遊びと「集団」で行うものと両方を設定し、それぞれのペースで提案していく	・子どもたちの状態から活動の提案を個別に考える ・「一人で集中して取り組めるもの」「集団で参加し、他者とのコミュニケーションを図るもの」と目的を分けて考え、それぞれで伸ばせる力を育めるようサポートしている	・スタッフが提案している選択肢以外にも子どもたちが考えていけるようパターンが固定化しないよう配慮する ・スタッフ全員が専門的な視点を持ち、明確な目的を持って活動の援助がしていけるよう支援の統一を図っていく
3	・家庭や学校では実現しにくい「やってみよう」を形にしている	・「友達とお出かけがしたい」「一人で料理をしてみたい」「ゆっくりお話しする時間がほしい」「個別で宿題を教えてほしい」などそれぞれのニーズに応える環境やスキル獲得の機会を提供している ・「挑戦してみよう」の気持ちに寄り添う	・それぞれのニーズを正しくキャッチできるよう対話の時間を丁寧に重ねていく ・「したいこと」の達成のために今の自分たちにそんなスキルがあればいいかを視覚的にも伝えていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ペアレントトレーニングが十分に実施できていない	・送迎時などに情報共有ができていない保護者とアプリや電話でのやり取りが主でなかなか話をしている時間が取りにくい保護者がいる ・保護者が参加できるイベントや交流の場が設定できていない	・子どもの情報共有の場として話せる機会(面談)の設定をおこなっていく ・定期的に会えるタイミングを作るようにする ・保護者のニーズを探りながら気軽に参加できるイベントの計画をおこなっていく
2	・建物の構造上、音がよく響く	・利用人数が多くなったり、その日の活動や遊びによっては盛り上がりすぎて「うるさい」と感じる子がいる ・スタッフの配置によっては個室対応や戸外に出て過ごすことが難しい場合がある	・スタッフの配置の見直し ・戸外にできるなどの分け方が難しい時は、活動場所と静かに過ごす場所とを分け、刺激が緩和されるよう配慮する
3	・地域、他事業所との交流機会が少ない	・活動内容の中に他事業所と関われる機会のものがあまり設定できていなかった ・地域の児童館や公園を利用することはあるが、地域の人との関わりがもてる機会を継続的におこなえていない	・他事業所との交流活動の設定 ・イベントなど地域の方にも参加してもらおうなど、接する機会をつくれるよう計画していく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Le-Lian 空と風

公表日 令和8年 2月 20日

利用児童数 22名

回収数 17名

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2	2	2	もう少しスタッフがいたら安心	新年度からスタッフ増加予定
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16		1		ものすごく音が響く	人数が多くなる時は空間を分けたり、園庭を活用していく
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	1		子ども同士のトラブルが多い	トラブルが大きくなる前に対応するようスタッフ間で周知、徹底していく
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1		2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	3		2		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	3		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	2		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	3	1	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	2				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	3		2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	6	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	3	3			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	6	6		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	1	1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	2			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	4		2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	3		6	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		6	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	2			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	2			
	29	事業所の支援に満足していますか。	16		1		月に数回の利用で事前予約を入れているにも関わらず、希望した日はほぼ取れない。 スタッフが増えたら受け入れ枠が広がるので対応していく

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Le-Lian 空と風		公表日		令和8年 2月 20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		2		スタッフ配置については検討中 増加予定	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2				
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2		半期に一度スタッフの個人目標の設定や事業所の毎月の目標設定を設けており取り組んでいる		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1	月に一度、本部と行政書士によるMTGを実施している		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		月に一度、大学の講師を招いて研修を行っている。その他外部研修にも参加している		
適切 な 支 援 の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2		ホームページ上で公表を行っている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2		スタッフ間でのケア会を実施し、五領域に基づきサービス計画書の作成を行っている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2		各職員から活動案を集めスケジュール作成を行っている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2		取り組んで欲しい内容、プログラムを職員で話し合い立案している		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2			朝礼にて前日の振り返りや当日活動の流れ等確認を行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2			夕礼にて当日の振り返りや保護者からの伝達事項、明日への引継ぎ事項など共有している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2			管理システムを活用して実施している
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	2			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			相談支援専門員との連携や学校で開催される担当者会には参加場の提供は行っていない
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2			相談支援専門員からのみ情報共有を行っている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2			相談支援専門員や他の障害福祉サービス事業所とも情報共有を行っている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2			地域の公園や児童館を活用し交流を図る機会を設けている
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			契約時に説明を行っている また、利用者負担については管理システムから周知を行っている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2			モニタリングの際に支援内容の確認と丁寧な説明を行っている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2			保護者からの相談事は一度事業所は持ち帰りスタッフの意識統一を図りながら助言を行っている

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		2		実施できていない 保護者のニーズも探りながら今後検討していく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	1	相談を受けた内容について職員間で共有し改善案の検討を行い適切に報告をするよう努めている	内容によってはその場でお返事、といたかないものもあり、今後も慎重に検討していく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2		毎日当日の活動内容をSNSで投稿を行っている 行事予定表を活用し各家庭に配布を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	44	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		ハンドサインや視覚支援によって意思疎通を図り、保護者へは管理システムを使用して伝達を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		マニュアルを策定し職員や保護者で情報共有を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2		非常災害を想定した話し合いは定期的に行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	2		送迎時に保護者から服薬を預かるようにしている 予防接種やてんかん等に関しては契約時や発症時の連絡がとれている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2		医師の指示書が必要な重度の子の利用はない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		安全計画やBCPを作成し虐待防止・身体拘束等の研修を計画的に行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2		契約時に災害時や避難場所の説明を行い職員間でも日頃から避難場所などを意識づけている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		朝礼、終礼で共有を行い、再発のないように改善策を立てるようにしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		年に3回の職員研修の実施 外部講師からの研修に参加している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2		契約時に身体拘束による同意書の説明をしたうえでサービス計画へ記載をしている		